



CHAPTER 1

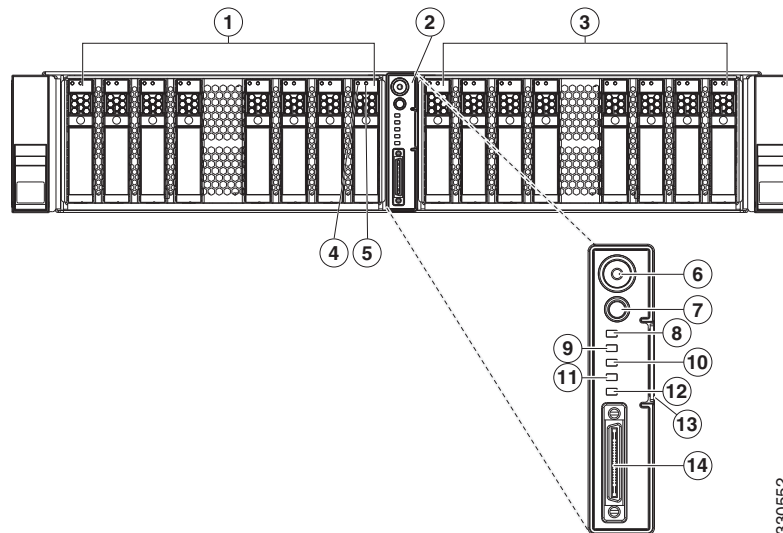
概要

このサーバは、高性能、メモリ集約型 2 RU (ラック マウント) サーバで、要求の厳しい仮想化と大量データセットの作業負荷に対応できるようパフォーマンスの向上と容量の増大を実現しています。

Cisco Extended Memory Technology を採用しているため、全体的なメモリ フットプリントを大きくすることができるほか、低コスト、低密度のメモリを使用してより小さなメモリ フットプリントのコストも削減できます。システムは、スタンドアロンアプリケーション、エンタープライズデータセンターにおける仮想化された作業負荷、サービス プロバイダー環境、バーチャル デスクトップ ホスティングに対応できるように構築されています。

この章の図は、外部サーバの機構の概要を示します。内部サーバの機構は図 3-5 (P.3-10) に示されています。図 1-1 に、サーバの前面パネルの機構を示します。

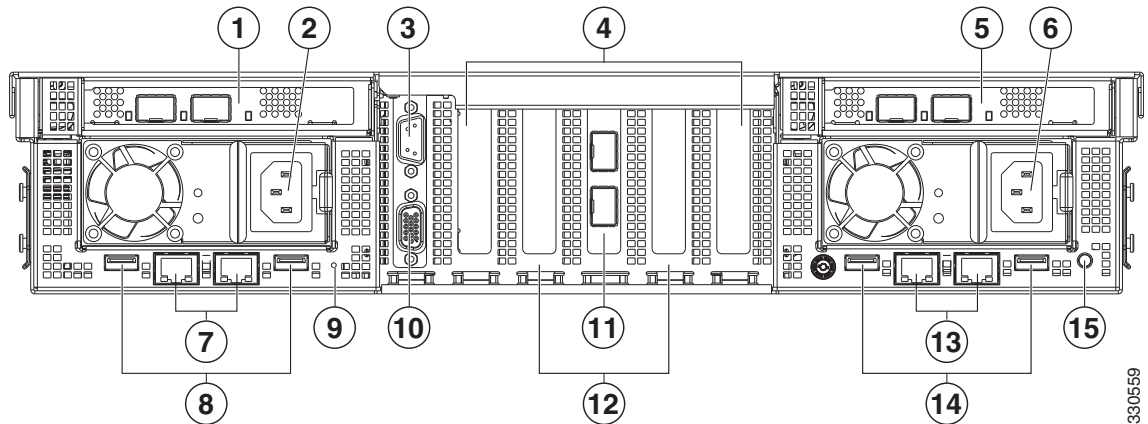
図 1-1 前面パネルの機構



1	モジュラ ドライブ ベイ 1	8	システム ステータス LED
2	操作パネル	9	ファン ステータス LED
3	モジュラ ドライブ ベイ 2	10	温度ステータス LED
4	ハード ドライブ障害 LED	11	電源装置ステータス LED
5	ハードドライブアクティビティ LED	12	ネットワーク リンク アクティビティ LED
6	電源ボタン/LED	13	資産タグ (シリアル番号)
7	ID ボタン/LED	14	KVM コンソール コネクタ (USB 2 個、VGA 1 個、シリアルコネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用)

図 1-2 に、背面パネルの機構を示します。

図 1-2 背面パネルの機構



330659

1	ライザーカードの水平 PCIe スロット (標準プロファイル、ハーフ長、x16)	9	リセット ボタン
2	電源 1	10	VGA ビデオ コネクタ
3	RS-232 シリアル コネクタ	11	10 Gb SFP+ LOM ポート (2 個、指定 PCIe スロット 4 のオプション カードでサポート)
4	マザーボードの PCIe スロット (5 個) (ロープロファイル、ハーフ長、x8 スロットが 4 個、ロープロファイル、ハーフ長、x4 スロットが 1 個)	12	RAID コントローラ カード (最大 2 個、指定 PCIe スロット 3 および 5 でサポート)
5	ライザーカードの水平 PCIe スロット (標準プロファイル、ハーフ長、x16)	13	1 Gb Base-T LOM ポート (2 個、RJ-45)
6	電源 2	14	USB 2.0 ポート (2 個)
7	10/100 専用管理イーサネット ポート (2 個、RJ-45)	15	背面 ID ボタン/LED
8	USB 2.0 ポート (2 個)		—

表 1-1 に、C200 M1 サーバの機構を示します。

表 1-1 Cisco UCS C200 M1 サーバの機構


シャーシ	2 ラック ユニット (2RU) シャーシ。
プロセッサ	Intel Xeon E7-2800 シリーズ プロセッサ X 2。
メモリ	<p>サーバには、メモリ ライザー ソケット 16 個とメモリ ライザー オプション 2 個があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準 Intel チップセット メモリ ライザーを使用すると、16 個のライザーにはそれぞれ DIMM¹ 2 個を収容できます。これにより、合計で最大 32 個の DIMM および 512 GB の業界標準 DDR3² メモリを提供します。 メモリ拡張 ASIC を備えたオプションのメモリ ライザーを使用すると、16 個のライザーはそれぞれ 4 個の DIMM を収容できます。これにより、合計で最大 64 個の DIMM および 1024 GB の業界標準 DDR3 メモリを提供します。
ストレージ	<p>ドライブは設定可能な (1 個または 2 個の) ドライブ ベイ モジュールに取り付けます。ドライブ ベイ モジュールはホットプラグ可能で前面パネルからアクセスできます。</p> <p>各ドライブ ベイ モジュールには、最大 8 個の 2.5 インチ x 0.55 インチ (63.5 mm x 14 mm) SAS³ または SATA⁴ ハードドライブまたはソリッドステートドライブ (合計 16 個) を収容できます。</p>
Cisco FlexFlash ドライブ	<p>サーバは、内蔵 Cisco FlexFlash ドライブ (SD カード) 1 個を搭載しています。このドライブには、仮想ドライブ 4 個が事前ロードされています。仮想ドライブ 4 個はそれぞれ、Cisco Server Configuration Utility、Cisco Host Upgrade Utility、Cisco C シリーズ サーバ ドライバセット、OS やハイパーバイザをインストールできるブランク VD を備えています。</p> <p> (注) 現時点では、デュアル Cisco FlexFlash カードはサポートされていません。</p>
ディスク管理	<p>出荷時設定の RAID⁵ サポート オプション：</p> <ul style="list-style-type: none"> RAID 0、1、5、6、10、50、および 60 では、オプションの LSI MegaRAID SAS 9261-8i RAID コントローラ (最大 2 台) を使用して、最大 16 個の SAS または SATA ドライブをサポートします。 <p>シャーシ内に、コントローラ カードで使用できるオプションの LSI RAID バッテリー バックアップ ユニット用取り付けポイント 2 つもあります。</p>
PCIe I/O	<p>PCIe⁶ 拡張スロット X 7 (詳細については、図 3-26 (P.3-43) を参照してください)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ライザー カード上に標準プロファイル、ハーフ長の x16 水平スロット X 2 マザーボード上にロープロファイル、ハーフ長の x8 スロット X 4 マザーボード上にロープロファイル、ハーフ長の x4 スロット (x8 の長さのコネクタ) X 1 <p>カードの長さは、内部の空間によってサポートされる長さです。</p>

表 1-1 Cisco UCS C200 M1 サーバの機構 (続き)

ネットワークおよび管理 I/O	<p>このサーバの背面パネルには次のコネクタがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10/100 専用管理イーサネット ポート X 2 • 1 Gb Base-T イーサネット ポート X 2 • 10 Gb SFP+ イーサネット ポート X 2 (オプションのモジュラ カード上) • RS-232 シリアル コネクタ X 1 • 15 ピン VGA⁷ コネクタ X 1 • USB⁸ 2.0 コネクタ X 4 • USB 2 個、VGA 1 個、シリアル コネクタ 1 個を装備した付属 KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM コネクタ X 1
電源	電源 X 2 (各 1200 W)。1+1 の冗長構成。
冷却	ファン モジュール X 6 (ホットスワップ可能、冗長構成)。各電源にファンが 1 個あります。
ベースボード管理	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ファームウェアを実行する Pilot II BMC。</p> <p>CIMC 設定に応じて、CIMC には 10/100 専用管理ポート、1 Gb LOM ポート、オプションの 10 Gb SFP+ ポート、または Cisco P81E 仮想インターフェイス カードを介してアクセスできます。</p>
ビデオ	サーバ CIMC チップには Matrox G200 コアが含まれています。メモリの最初の 8 MB はビデオ コアに割り当てられます。

1. DIMM = Dual Inline Memory Module (デュアル インライン メモリ モジュール)
2. DDR = Double Data Rate (ダブル データ レート) (転送モード)
3. SAS = Serial Attached SCSI (シリアル接続 SCSI)
4. SATA = Serial Advanced Technology Attachment (シリアル ATA)
5. RAID = Redundant Array of Independent Disks
6. PCIe = Peripheral Component Interconnect Express
7. VGA = Video Graphics Array (ビデオ グラフィックス アレイ)
8. USB = Universal Serial Bus (ユニバーサル シリアル バス)